

経営比較分析表

兵庫県 福崎町

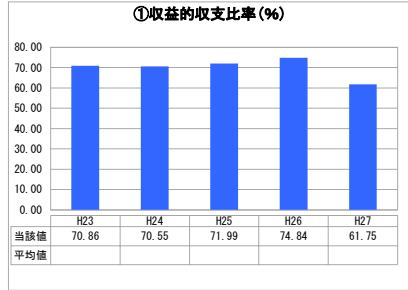
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.20	100.00	3,610

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,568	45.79	427.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
40	0.01	4,000.00

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 平成27年度全国平均

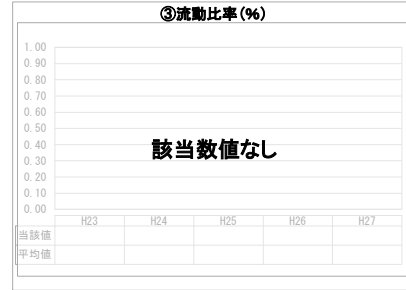
1. 経営の健全性・効率性



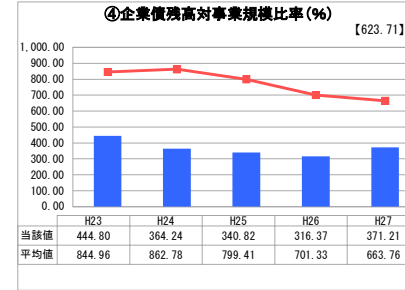
「単年度の収支」



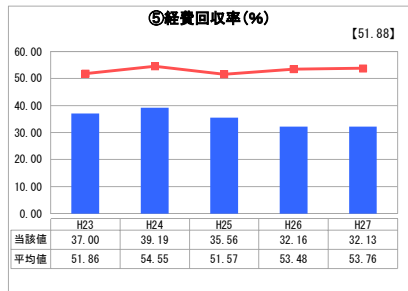
「累積欠損」



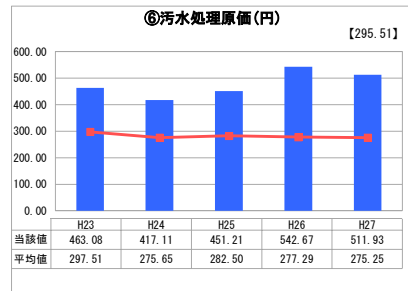
「支払能力」



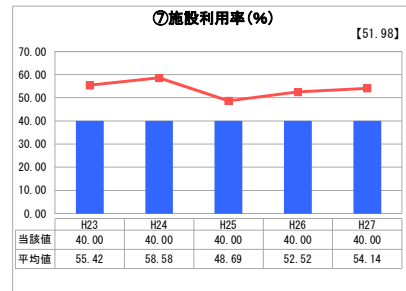
「債務残高」



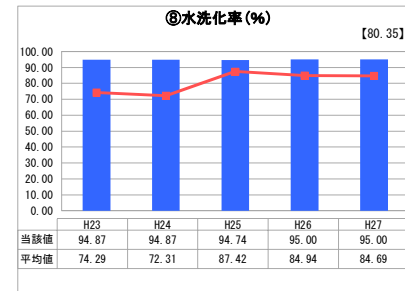
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

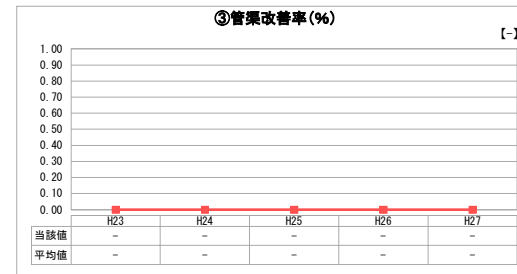
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①過去5年間に於いて、収益的収支比率は70%台で推移しているが、H27年度は60%台に減少し使用料収入等で経費等を賄っていない状態である。
 ②自己資本構成比率は、過去5年間に於いては30%前半横ばいとなっている。また⑥汚水処理原価は類似他団体に比して高く、経費回収率低減の要因となっている。
 ③施設利用率は、事業規模が小さく利用人口等の変動がないため、過去5年間40%で推移している。
 ④企業債残高対事業規模比率は、50%以上増加したが、これは事業規模が小さいため、収入等の減が大きく影響した。新たな借入予定がないため、今後は通減する見込みである。

2. 老朽化の状況について

供用開始から17年が経過し、機器等は経年劣化が進み、緊急対応で更新している。

全体総括

施設(浄化槽)の使用は100%に近い状態であるが、使用人口は減少傾向にあり、使用効率は向上せず、経費回収率が低くなっている。今後は、経年による機器の劣化等により、経費の増高が見込まれるため、計画的な修繕対応の検討が必要である。
 また使用料については、農業集落排水事業・コミュニティプラント事業の料金設定との均衡を図り、同一の料金設定としており、見直しの段階において当該事業を考慮した検討が必要である。今後は老朽施設の更新等に伴う設備投資の増加が想定されるため、経営戦略を策定し効率的な経営を目指すしていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。